

## 世界遺産条約採択40周年記念行事一覧表

	京都本会合	富山プレ専門家会議	姫路プレ専門家会合	和歌山シンポジウム
日程	11月5日(月) 夕方:日本政府主催レセプション 11月6日(火)～8日(木) 京都最終会合	11月3日(土)～5日(月)【前】 【3日:AM専門家会議、PM専門家会議、夜 知事招宴レセプション。 4日:AM専門家会議、PM現地視察。 5日:AM意見取りまとめ・県民向けセミナー、PM京都へ移動。】	11月3日(土)～5日(月)【前】 【3日:AM専門家会議、PM専門家会議、夜 市長招宴レセプション。 4日:AM専門家会議、PM市民向けシンポジウム・現地視察。 5日:AM意見取りまとめ、PM京都へ移動。】	11月9日(金)～11日(日)【後】 ※9日現地入り 【9日:夜知事招宴レセプション。 10日:終日現地視察。 11日:PMシンポジウム、パネルディスカッション。】
主催者	日本政府(外務省、文化庁、環境省、林野庁)、ユネスコ	文化庁、富山県	文化庁、姫路市(兵庫県協力)	文化庁、和歌山県
目的、ねらい	ユネスコにおける世界遺産条約採択40周年の各地の議論・行事を締め括る最終会合を開催し、我が国の文化遺産及び自然遺産の魅力の世界に発信するとともに、我が国の世界遺産条約に対する国際的貢献を世界にアピールする。	世界遺産が地域社会の持続可能な発展に貢献するための課題を分析するとともに、そのためのキャパシティ・ビルディング(人材育成)の手法や国、地方自治体、NGO、地域コミュニティ等の連携・役割分担の方向性を考える。	「真正性に関する奈良文書」は2014年に採択20周年を迎えるが、そこで提案された遺産の保存について検証し、社会の変化やニーズを踏まえた保存・活用の在り方につなげていくために、様々な分野の専門家で議論を行う。	「素晴らしい世界遺産を次世代へ」というテーマで、自然災害を含む世界遺産の保全における地域の主体的活動の重要性等についてシンポジウムで議論する。
開催場所	京都府京都市(京都国際会館)	富山県富山市(富山県民会館)、白川郷・五箇山の合掌造り集落視察	兵庫県姫路市(日本城郭研究センター、姫路城視察)	和歌山県伊都郡高野町(高野山大学、高野地域視察)
コーディネーター	—	筑波大学大学院 稲葉信子教授 文化庁	九州大学 河野俊行教授 文化庁	日本イコモス理事 杉尾邦江
文化庁出席幹部	近藤長官、石野文化財部長、大和文化財鑑査官、矢野課長	大和文化財鑑査官	石野文化財部長	—
出席海外専門家	イリーナ・ボコバ(ユネスコ事務局長、ソック・アン・カンボジア副首相(世界遺産委員会議長)、千玄室ユネスコ親善大使、松浦前ユネスコ事務局長ら、多数の関係者が出席。	ラナ・アミールタハマセビ(世界銀行都市開発専門官) ティム・バッドマン(IUCN世界遺産プログラムディレクター) ジョバンニ・ボッカルディ(ユネスコ世界遺産センターフォーカルポイント) クリスティーナ・キャメロン(モントリオール大学教授) アルフレッド・ルイス・コンティ(イコモス副会長) マリア・ガバーリ・パーバス(パリ第1大学教授) ロビト・ジギヤス(立命館グローバル・イノベーション研究機構教授) ファロ・ババ・ケイタ(スクール・オブ・アフリカン・ヘリテージ・ディレクター) ノーラ・ミッチェル(パーモント大学准教授) ガミニ・ウイジェスリヤ(イクロムプロジェクトマネージャー)	グスタボ・アロウズ(イコモス会長) カロリーナ・カステラノス(イコモス・ワールド・ヘリテージアドバイザー) マルタ・デ・ラ・トーレ(Getty文化財保存研究所) ハリエット・ディーコン(ケープタウン大学ヘリテージコンサルタント) ナグチョ・ドルジ(ブータン内務文化省) コーネリウス・ホルトルフ(リニニアス大学教授) ニール・シルバーマン(マサチューセッツ州立大学アムハースト校教授) マイケル・ターナー(ユネスコ・エルサレム議長) ルカ・ザン(ボローニャ大学教授)	アルフレッド・ルイス・コンティ(イコモス副会長) フェルナンデス・ビクター・サリーナス(CHC委員長) マイケル・ロメロ・テイラー(CIIC委員)
出席日本人専門家	多数の専門家が出席。	稲葉信子(筑波大学大学院教授) 岡田保良(国士舘大学大学院教授) 鈴木涉(SATOYAMAイニシアチブ国連パートナーシップ(IPSI)事務局次長) 永瀬節治(和歌山大学観光学部講師)	河野俊行(九州大学大学院教授) 西村幸夫(東京大学副学長) 野家啓一(東北大学教授) 溝口孝司(九州大学教授)	西村幸夫(東京大学副学長) 杉尾邦江(日本イコモス国内委員会理事) 村上保壽(高野山真言宗教学部長) 仁坂吉伸(和歌山県知事)